令和7年度　森林環境譲与税に関する決算状況一覧

No.	事業区分	事業名	(9)事業総額（円）【決算】			事業内容	実績
			(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（円）	(B)うち他の財源（円）		
1	① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林情報管理システム（林地台帳・森林ＧＩＳ）の整備・更新	1,006,500	1,006,500		森林所有者森林整備意向調査に必要なデータ収集等のため、林地台帳・森林GISシステムの継続的な保守・更新を行う。	システム端末・データ更新
2	② 意向調査、集積計画等作成	地域林政アドバイザー業務	646,800	646,800		未施業森林の森林所有者に対して、林政アドバイザーと町が直接出向き、森林整備に対する説明をし、間伐や造林未済地の再造林を促す。	地域林政アドバイザー委託1名
3	③ 私有林整備	森町私有林整備事業	900,583	900,583		私有林における間伐等の森林施業に対する補助事業を行い、安定的な事業量の確保やさらなる事業推進を図り、冬季での事業実施による林業の担い手確保に繋げる。	保育間伐1.46ha、枝打ち1.46ha
4	⑦ その他（森林整備）	会計年度任用職員（林業専門支援員）の雇用	3,884,993	3,884,993		林務事務の専門職として、林業専門支援員を会計年度任用職員として雇用し、森林整備の推進をはかる	林業専門員雇用　１名
5	⑧ 担い手確保	森高校生におけるインターンシップ事業	438,487	438,487		地元林業・林産業の就業促進及び北海道立北の森づくり専門学院への動機づけを図るため、北海道立森高等学校が実施しているインターンシップにおいて、林業・林産業の見学・体験会を実施する。	27回実施、参加延べ人数135人
6	⑧ 担い手確保	森町地域サポート部会による担い手育成支援事業	909,100	909,100		北海道立北の森づくり専門学院や北海道森高等学校などの学生に対し、森林・木材産業の現場で学ぶ実践実習の機会を提供する。地域の事業者や関係者との交流を通じて、林業・木材産業の新たな魅力や仕事への理解を深め、地域への関心を高めることで、将来的な定着や就業の促進につなげる。	補助金
7	⑧ 担い手確保	滞在型・定期型利用施設「Connect∞もり」活用支援事業	885,728	885,728		北森カレッジや大学生のインターンシップにおける滞在型活動を支える拠点として、施設の維持・管理や活動を支援する。 フィールドワークやものづくりを通じて、学生が地域との交流や社会参画を実践的に学ぶ場をつくる。	利用日数147日、利用人数21人
8	⑫ その他（人材育成等）	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への賛助金	50,000	50,000		北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への賛助金	負担金
9	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	若年層の担い手育成による関係・定住人口創出支援事業	1,698,142	1,698,142		若年層担い手育成施設（iroMori）は、産業体験や研修生の受入れを通じて都市住民との交流を生み出す活動拠点である。地域の活性化と産業振興を図り、若者の流出を地方への関心や人の流れに変える新たな人材育成拠点として活用する。	・活動人員：地域おこし協力隊4名 ・木育活動：31回 ・iroMori施設利用実績：利用日数63日 ・利用者別実績：町民56人、町外142人、合計198人 ・iroMoriの実績：ワークショップ3件、視察対応2件
10	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	木育推進事業プロジェクト	1,684,799	1,684,799		「道南スギの出生証明書」 道南スギ板（A4判）にレーザー刻印した「出生証明書」をプレゼントする。新しい町民の誕生を町内全体でお祝いすることで、地域で支え合う機運を醸成する。 「ウッドファースト・トイ」 産まれてくる子どもへの最初の木製品として「道南スギの積み木」を作りプレゼントする。積み木作りをとおして木育の新たなアプローチと参加者同士のコミュニティを構築する。 「森町木育学習カリキュラム作成」 森町木育ワーキンググループを起ち上げて、各世代の木育プログラムを検討する。 「駒ヶ岳風倒木被害地の森林環境教育」 子どもたちと補植・育林活動を行い、森林づくりへの理解と環境教育を推進する。	・出生証明書12人 ・ウッドファースト・トイ10個 ・木育試験授業（4種類、延べ107人） ・町内3小学校（座学174人、植樹132人）
11	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	駒ケ岳木炭を活用した森林環境教育	497,200	497,200		駒ヶ岳木炭の歴史や活用方法を学び、森林資源と地域産業への理解を深め、森町の特色ある資源として次世代に伝える。	鷲ノ木小学校3・4年生、合計8名
12	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	木造公共施設森町モデル	3,948,079	3,948,079		森町産材を活用した木造公共建築の継続的な整備に向け、これまで開発してきた森町トラスや、それを応用した耐力壁の実用化・普及可能性を検討する。また、非住宅分野への木造建築の展開を進めるとともに、道総研森林研究本部と連携し、資源解析やシミュレーションを活用した町有林の計画的な管理と安定的な木材供給を推進する。	・協議会実績：年5回開催 ・検討内容：森町産材を活用した耐力壁の性能向上、町有林の実態把握
13	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	森林資源を活用したカーボンクレジット創出支援事業	215,415	215,415		ＥＮＥＯＳ株式会社及び日本生命保険相互会社との連携協定に基づき、森林資源を活用した脱炭素化とJ-クレジット認証に向けた現地調査を実施し、森林の二酸化炭素吸収量を算定する。	・連携実績：ENEOS株式会社、日本生命保険相互会社の2社 ・調査対象：約4,300haの森林を対象に森林資源解析・モニタリングを実施